

難防除雑草「クサネム」の出芽特性

福島県農業試験場会津地域研究支場
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－雑草発生、雑草防除
分類コード 01－01－19200000

2 担当者

新田靖晃・濱名健雄・松本 靖

3 要旨

難防除雑草「クサネム」の防除法を確立するため、「クサネム」の出芽特性を調査した。

- (1) 前年秋に採取した種子は出芽率が低かった。これは休眠が影響しているものと考えられた。
- (2) 自然落下状態である子実莢に入った種子は、子実莢が無いものに比べ出芽速度が緩慢で、播種100日後も出芽し出芽期間が長かった。
- (3) 用土の違いにより出芽速度に違いがみられた。また、用土を水で攪拌すると出芽率は低下し、出芽速度も緩慢となった。その推移は、水田土壌と同様の傾向であった。
- (4) 「クサネム」の防除の際は、種子の休眠や子実莢の有無、土壌条件などにより出芽が長期に渡ることを考慮する必要がある。

4 その他の資料等

なし